

# 小浜・京都ルート着工予算計上に注力

パリ2024五輪・パラリンピックでは本県ゆかりの選手が7人出場し見事な活躍をされた。体操男子団体金メダルの杉野正堯選手には福井県栄誉賞、フェンシング男子エペ団体銀メダルの見延和靖選手とパラリンピック陸上競技銅メダルの川上秀太選手に福井県スポーツ特別賞を授与し、その功績を称えたい。



杉本 達治  
福井県知事

北陸新幹線敦賀開業から5カ月間の関東圏からの来訪者数が4割を超えるなど好調を維持。県内全域の主要観光地の入込みも大きく増加し、恐竜博物館はリニューアル後、1年間の来館者数が118万人となり、過去最高を記録した。今後も切れ目なく観光誘客に取り組んでいく。嶺南地域の開業効果を拡大させるため、首都圏に加え関西、中京圏からの誘客を進める。インバウンドを促進するため京都に滞在する外国人観光客へのプッシュ型広告や京都駅、金沢駅等での広告掲載などにより誘客効果を図る。

10月から福井鉄道、えちぜん鉄道での交通系ICカードによる運賃決済サービスを開始し、県民の利用促進や北陸DCなどによる観光需要を最大限に取込み、地域鉄道の活性化を図っていく。路線バスの深刻な運転士不足対策に就職奨励金や大型二種免許取得

支援、バス運転士の緊急求人広告などを実施してきた。今後はこれらに加え、運転手の確保や負担軽減に取り組む事業者、新たな代替交通への転換を図る市町に対し、さらに強力な支援を行いバス路線の維持、復便に努める。

北陸新幹線敦賀―新大阪間は小浜・京都ルートの認可着工に向け、今年山場となる重要な年となる。北陸新幹線建設促進同盟会として沿線府県議会協議会、経済団体等と合同で政府与党に概算請求に着工のための予算を盛り込むよう強く要請。国交省は概算

要求に新規着工に要する経費を事項要求として盛り込んだ。今後、年内に駅位置詳細ルートを決定し、令和7年度政府予算案に着工予算が確実に計上されるよう県議会、沿線府県や経済界との連携を一層強化し全身全霊を傾け政府与党に強く求めていく。

人口減少対策に大学、企業の地方分散など国の責任において社会構造の転換を国に求め、全国の知事と人口問題に全力で取り組んでいく。引き続き県民との意見交換を進め、県議会との議論を深め、将来像の実現に向けた具体的な施

**県の9月一般会計補正予算の規模70億円。新幹線開業効果を持続化、最大化するための対応に加え、賃上げの促進や国の支援に合わせた電気料等の物価高への対策を講じた。新幹線小浜・京都ルートの認可着工や使用済み核燃料対策ロードマップの見直しなど正念場を迎えるほか、県立大学地域政策学部開設に向け意欲をみせた。本年度予算額の累計は5122億円となる。**